

Icon P1-M は、gain、buses、sends、coms、trim、pan をコントロールできる 8 チャンネル・モーターフェーダーパネルです。各チャンネルに専用のセレクト、ミュート、ソロ、アームボタンと TC ディスプレイを搭載しています。バンクスイッチでチャンネル 1~8、9~16、17~24、25~32 にアクセスできます。5 レイヤー、16 タッチゾーンのプログラマブルタッチスクリーンは、最大 80 個の機能をマッピングできます。

Icon P1-M ファームウェアバージョン 1.10 および iMAP ソフトウェアバージョン 1.17 をご使用ください

セットアップ

P1-M を 8 シリーズで使用するには、iMAP の“Sound Devices”プロファイルを P1-M の 3 つの DAW ボタンのいずれかにマッピングする必要があります。マッピングには、PC または Mac 用の Icon の iMAP ソフトウェアを使用してください。

1. まだインストールされていない場合は、Icon 社の[ウェブサイト](#)の P1-M ページにアクセスしてください。ページ下部の「ダウンロード」から、お使いのコンピューターに適したバージョンの iMAP を選択してインストールしてください。インストール後はプログラムを起動しないでください。
2. コントローラーの背面から USB-C 接続を使用して P1-M をコンピューターに接続します。
3. P1-M の電源を入れます。(注：Ch-1 の ‘M’を押しながら P-1M の電源を入れる。)
4. コンピューターで iMAP アプリケーションを起動します。画面右上のドロップダウンで、コントローラーとして P1-M が選択されていることを確認してください。
5. 左側の黒い領域の任意の場所を右クリックし、“Reset to Factory Default”を選択します。
6. 画面右側の DAW ドロップダウンボックスから“Sound Devices”を選択し、BUTTON FUNCTIONS タブを選択します。



P1-M のタッチディスプレイのレイアウトはカスタマイズ可能です。Sound Devices は、利便性向上のため、カスタムプリセットの iMAP 設定と 8 シリーズコントローラーのマッピングファイルを用意しました。これらを組み合わせることで、よく使う機能をこのタッチディスプレイにマッピングできます。

対応する 8 シリーズ コントローラー マッピング ファイルを 8 シリーズにロードするには:

1. sounddevices.com から P1-M コントローラー マッピング ファイルをダウンロードします。
2. 8 シリーズ ドライブのルートにある MIDI_MAPPING フォルダにファイルをロードします。

注：8 シリーズファームウェア v10.11 以前で、MIDI_MAPPING フォルダが存在しない場合、Menu: 8-Series Controllers > Mapping に移動し、“Learn”を選択して P1-M ボタンを学習させてください。これにより、MIDI_MAPPING フォルダが自動的に作成されます。その後、学習したボタンをマッピングリストから削除できます。

3. 8-Series メニューから、Controllers > Mapping を選択し、画面下部の“Load”スイッチを切り替えます。
4. P1-M コントローラー マッピング ファイルを選択し、ヘッドフォン エンコーダーを押して選択します。

注：P1-M を 8-Series で初めて使用する際は、チャンネル 1 の Solo ボタンを押しながらコントローラーの電源を入れてください。P1-M がデフォルトにリセットされている場合は、この手順を繰り返す必要があります。

トラブルシューティング

P1-M をリセットするには、電源を入れながらエンコーダー 2 と 3 を押し続けます。

以上。